

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立南港桜

小学校

児童数

97

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.55	19.09	50.36	42.71	50.11	9.47	145.24	22.29	55.36
大阪市	16.50	19.30	32.69	39.78	49.39	9.37	149.73	21.98	52.80
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
女子	15.30	20.19	51.34	40.81	43.49	9.67	141.47	13.98	57.34
大阪市	16.06	18.33	37.25	37.99	39.25	9.63	142.67	13.71	54.45
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90

結果の概要

○全体的に男女ともに体力合計点の平均値においては、全国・大阪市平均を上回っていた。特に男女ともに長座体前屈においては、全国・大阪市平均を大きく上回っていた。男女別でみると（男子）握力、反復横とび、ソフトボール投げにおいては、全国・大阪市平均を少し上回っていた。シャトルランでは、大阪市平均を上回っていた。また、上体起こし、50メートル走、立ち幅とびにおいては、全国平均より少し下回っていたが、大阪市平均には、迫る勢いであった。（女子）上体起こし、反復横とび、シャトルラン、ソフトボール投げにおいては、全国・大阪市平均を上回っていた。50メートル走においては、全国・大阪市平均にほぼ近い値となっているが、握力、立ち幅とびにおいては少し下回っていた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

（これまでの取組の成果）

・課題であった体力が低いことを鑑み、基礎・基本体力向上を目指していこうと目標を掲げ、体育の授業、運動会、走れ走れ大会において、走ることを重視し持久力向上をめざし、休み時間では、運動場遊びをすすめてきたりした結果においては、持久走（シャトルラン）の値に成果が見られた。その他の項目の運動能力においても、全国・大阪市平均と比べると、かなりの向上があると言える。（今後取り組むべき課題）

・引き続き基礎・基本体力向上をめざしていく。そのために運動する機会や内容（新しく楽しいスポーツの取入れ）を検討し、運動量が増加する工夫をしていく必要がある。中でも、運動することが苦手な児童の運動量をどう向上させるかを検討していくことが大事であることを、教職員の共通理解として、学校・学年・学級の連携した中で取り組んでいく体制づくりをしていく。

・運動の種目には、あまり取り組んでいないものがあり、慣れていないことが数値に影響しているのではないかととの疑問があるため、低学年から児童の実態に応じて取り組んでいけるようにした。